



Q1 会社の強みは何ですか？

A1 タフコートには新車乗用車10年保証といった絶対的な自信があります。また、全国各地に施工ディーラーが展開しているのも強みです。

Q2 タフコートとは？

A2 当社独自の技術を習得した作業員が、独自の防錆剤とスプレーシステムを使用し施工する、他にない防錆システムの総称を指しています。

代表取締役
田村 謙征 氏

《 信条 》
座右の名は「柳に雪折れなし」



「人や環境にも優しく、美観を損なわない水性で透明な新しい防錆剤は、密着力が高く施工後に折り曲げても剥がれることはありません」と代表取締役の田村謙征氏は自信を覗かせる。

**選べるタフコートの完成で
客単価と売上げ拡大を実現**

完成した水性防錆剤はその後改良を加え、また、施工箇所を目視しやすくするため、あえて着色した仕様も開発。コストパフォーマンスに優れる従来防錆剤と、2バリエーションの水性防錆剤が揃ったことにより、予算や施工箇所によって使い分けることが可能となった。

「現在、ほとんどがカーディーラー

TKJ 株式会社タフコートジャパン

代表取締役 / 田村 謙征

所在地 / 宮城県仙台市宮城野区扇町3-10-1

T E L / 045-472-2712(横浜本社)

事業テーマ
【26年度補正】
業界初。水性かつ透明の防錆表面処理技術の確立



で扱う新車の防錆に利用されていますが、将来的には家屋や橋などの様々な建材に展開できればと考えています」。



**ブランド化も実現した
防錆のスペシャリスト**

防錆システムブランドであるタフコートやカーケア関連製品を手掛ける株式会社カーケアシステムから、タフコート部門を独立させた株式会社タフコートジャパン。本社は横浜だが、融雪剤による錆被害が大きい東北・北海道地区をサポートするため仙台市宮城野区に仙台事業所を構える。現在、全国各地に独占加盟契約店52社を展開し、事業を拡大し続けている。1台の自動車を長く乗り続けるユーザーが増加する近年、注目度は非常に高いものとなっている。

**これまでにない水性透明の
革新的な防錆剤開発に着手**

新たな商品開発として独自の防錆剤を模索してきた同社は、水性で透明性を維持する新しい防錆剤の基礎研究があることを知り共同



開発に着手した。

油性の有機溶剤を使用する防錆剤は、施工する作業員の身体に悪影響を及ぼす可能性もあるため防護が必要となる。また、従来の着色された防錆剤では車両下部など目立たない場所以外では使いづらいというウィークポイントがあった。これらの問題を解決する水性で透明な防錆剤は、業界初の新しい防錆剤となりうる可能性を秘めている。基礎研究は進んでいたが、実際の商品化に向けては、材料の粒子を

ナノレベルにまで小さくし攪拌する技術が必要であった。

**装置導入による技術確立で
高機能な防錆剤が誕生**

導入した三段真空装置と二軸ミキサーの2つの装置を活用することで、材料粒子をナノ化する技術を確認。これにより、これまでなかった業界初の水性で透明な防錆剤の生成を実現した。しかも、粒子が小さいため浸透性が高く、また粒子同士が強く結び付くことで非常



FILE.15

高機能を発揮する独自の防錆システム